
平和な世界で（勇者の必要性）

聖魔光闇

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

平和な世界で（勇者の必要性）

【Nコード】

N98210

【作者名】

聖魔光闇

【あらすじ】

世界に平和が訪れた後の勇者は……

(前書き)

何が善で、何が悪なのか。

俺は勇者だ！ だから何をやっても許される！

ある日、勇者達一行は草原にてモンスター討伐を行っていた。…
いや、モンスターの虐殺を行っていた。

逃げ惑うモンスターを半笑いで追い掛け、無惨にも真後ろから一刀両断する。魔法で逃げ場を奪うと、腕や足を切り離してから、無惨にも命乞いするモンスターを粉碎した。

「俺は勇者だ！ 勇者様御一行だ！ モンスター共。俺の経験値の糧となれ！」

逃げ惑うモンスターを大量虐殺する勇者を人々は決して英雄とは称えなかった。

何故なら、この世界にはモンスターと呼ばれる奇怪な野獣は生息していたが、魔王はいなかったからだ。

魔王のいない世界の勇者。コレこそ、世界のはみ出し者、以外に表現方法はなかった……。

「俺は勇者だ！ 俺は勇者なんだ！」

勇者は、泣きながら叫んでいた。

(後書き)

末路ってヤツですか？

結果でしょうか？

選択ミスでしょうかねえ？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n9821o/>

平和な世界で（勇者の必要性）

2010年11月18日03時18分発行